

令和5年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(地理歴史) 科目：(世界史B) 対象：(第3学年A組～F組)

科目担当者：物部 篤士 ㊤

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 近代以降のヨーロッパ史を中心に、世界の歴史の大きな流れを理解する。 中学校で学んだ日本の歴史や1、2年生で学習した地理A・倫理・日本史・世界史の知識を活かし、歴史の事実を客観的に観察し、分析する力を養う。
----------------	---

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に得点が高くはなく、義務教育段階の学習事項が定着している生徒は少ないと思われる。 表や文章を読み込み、答える問題、表やグラフを見て、気づいた点を説明する問題で、内容不十分なものが多かった。 地図と文章・年表を用いて説明する記述問題が正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象を理解するにあたり、諸資料を十分に観察し、分析することが求められる。 歴史的知識と地理的な知識を関連づけて、深い理解へとつなげていく必要があると思われる。 現在の社会に対する関心と歴史的事象を関連づけて興味関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の確立 地図を使うなど、歴史的事象と地理的關係についての深い理解へつなげていく。 資料集などの視覚資料によって歴史的事象のイメージを把握させ、歴史の流れを理解する助けとする。 生徒の理解を確認しながらすすめるよう、授業のスピードに留意する。 同時に学習する「政治・経済」の授業との連携に努める。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			